



平成 28 年 3 月 22 日

各 位

会社名： ミライアル株式会社  
代表者： 代表取締役社長 山脇 秀夫  
(コード番号 4238)  
問合せ先： 専務取締役 兵部 匡俊  
(TEL 03-3986-3782)

(訂正)「平成 28 年 1 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 28 年 3 月 9 日に発表いたしました「平成 28 年 1 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正箇所

1. 経営成績・財政状態に関する分析

- (1) 経営成績に関する分析  
(プラスチック成形事業)  
(成形機事業)

2. 訂正の内容

訂正内容につきましては、下線を付しております。

《訂正前》

(プラスチック成形事業)

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器FOSBは、上記の状況に加え、リユースの増加による新品需要が減少し、また工程内容器FOUPは端境期により売上が減少したため、減収減益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,050百万円(前期比15.9%減)、営業利益は854百万円(前期比40.4%減)となりました。

(成形機事業)

当事業は、顧客要求に応える特殊機械装置の開発に資源を集中することで競合との差別化を図り、利益を確保しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,148百万円(前期比7.5%減)、営業利益は176百万円(前期比14.1%増)となりました。

《訂正後》

(プラスチック成形事業)

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器FOSBは、上記の状況に加え、リユースの増加による新品需要が減少し、また工程内容器FOUPは端境期により売上が減少したため、減収減益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,050百万円（前期比15.9%減）、営業利益は783百万円（前期比45.4%減）となりました。

(成形機事業)

当事業は、顧客要求に応える特殊機械装置の開発に資源を集中することで競合との差別化を図り、利益を確保しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,148百万円（前期比7.5%減）、営業利益は140百万円（前期比9.5%減）となりました。

以 上